

はくかんさん

つながっている

第95号 H27年秋号

伊豆市 法住寺 発行

当山の白龍会は、今年も池上お会式に参加、帰りは夜中の一時。それでも参加する、そこには何かがある、頭で考えてもわからない何か。



白龍会 バス万席 47名、現地合流含めて60人 良い万灯でした

それは直接参加し体験してわかるのかもしれない。池上のお山を登り切って大堂のお祖師さまにお詣りする、その時 天からの爆発的な 表現しきれぬ何か 魂とでもいうものが響くのです。大聖人、大曼荼羅の宇宙につながっていると直感するのです。

*

子供たちの纏まじりも、池上の夜空天高く舞った。その一生懸命さは、大曼荼羅宇宙につながっている、そして子供たちを善き方向に導いて下さると直感するのです。

*

当山のお会式が、多くのおおくのご奉仕を頂き行われた。手作りのコンニャク、ネギぬた、キンピラごぼう、里芋や昆布の煮付け、「やっぱり、こういうもんが良い



子供たちの献灯 けなげな姿は今年も感動です

よなあ」と箸がすすみお酒もすすみました。ネギや里芋を育て上げた皆さん、調理の女衆、会食の皆さん、つながっているのです。献灯献花の子供たちは、参列者の心を温かくしてくれ、お祖師さまと皆さんと共につながっているのです。

*

今の時代、それぞれが自己主張し過ぎることもあるのですが、目には見えない、さまざまなたながりを感じ、感謝するほどに心は深く安らぐのです。

元気な若衆(伊東修護持会長撮影)



お寺の庭に花いっぱい

昌子寺庭の山務日誌より

今年のノーベル医学生理学賞に輝いた大村智さんの受賞理由となった薬の基は、伊豆の川奈の土に含まれる細菌のつくり出す物質だったと聞きま

す。その薬剤によって何億人も

の命が救われているそうです。先日はNHKのクローブアップ

現代のキヤスターが「それにしても薬の基となるバクテリアが伊東市のゴルフ場の土の中にあつたことが不思議ですね」と言っていました。

*

でも私には当初からかなり直感的に感じていることがありました。あの川奈の地は「日蓮聖人が流された処」であり、おきざりにされたと云う「まないた岩」、その身をかくまわれたお岩屋、日蓮聖人にお給仕を続けたという船守弥三郎夫妻のお墓が川奈にあるのは、近くの私たちも知る処です。ですからあの川奈の地には、お祖師さまの高らかなお題目が染み渡っていたことと思うのです。その土の中から多くの人々を失明の苦し

みや死の痛みから救う薬の基が見つかったとすれば「川奈とは不思議ですね」を超える目に見えない「何か」があることをひしひしと感じます。

かつて日蓮聖人も人々を救おうと苦難の道を歩まれました。そして今、「世の中の役に立ちたい」という想いを胸に、来る日も来る日も、かき集めた土を調べ続けて人類の幸せに貢献された研究者の尊い志に心から手を合わせ感謝の気持ちを重ねています。

トピックス

第一墓地斜面、崩れる

七月二日夜、短時間で大きな雨が降り、第一墓地北側斜面(ゴミ焼却炉上)が崩れました。参道に溢れた土砂は直ぐに処理し、お盆過ぎに壁を増設しました。

寺子屋

今年もお盆が終わって直ぐに寺子屋道場が開かれました。十八名の子供たちが参加、お寺に一泊し楽しく意義ある体験をしました。



第一墓地 崩落後、壁を増設



寺子屋 手は胸のこの位置が良いですよ

副住職の洋明さんが、やれることはやろうと始めて十一回目、延べ約二百人の子供たちが法住寺寺子屋を体験したのです。その

中から中学生や高校生がサポーターとして

参加してくれています。また保護者の方々も

様々にサポートしてくださり、そのおかげで

続けることができています。

今年も原点に戻って、お寺での生活を中心にして「分かち合う心」を養いました。

正座して合掌、お経や太鼓の練習、夕食のカレーづくり、間食なしで食べるカレーのうまさ、白岩温泉、花火、ゴロ寝、朝勤、清掃、スイカ割り等々。どれも楽しく意義ある体験で、「来年もまた来るね」の言葉を残して

無事に終了しました。

伊豆連合大題目

九月二七日(日)伊豆長岡、宗徳寺さまにて今年の伊豆連合大題目が開催されました。

当山の副住職洋明上人の司会で始まり、当山から出ている山下要副会長が主催者を代表して気持ちのこもったあいさつをされました。その後法要、宗徳寺ご住職導師の力強く熱のあるお題目に、体の底から湧き上がる

聴こえてきた。行堂に女性はいないのに耳から離れなかった、その話を自坊のご住職に話すと丁度その時間、檀信徒が集まって無事の成満を祈ってお題目をお唱えしていたとのこと。目には直接見えないが確実に伝わる想いのあることを話されました。

これからの予定

中伊豆立正会大題目

十二月五日(土)午前十時

山下一会長(当山護持会顧問)の中伊豆立正会の十二月例会が当山で行われます。檀信徒は全員会員ですから、ぜひご参加下さいませようお願いします。

境内整備作業

十二月六日(日) 清水①

三月 六日(日) 元村②

いつもありがとうございます。宜しくお祈り致します。

新年厄除け星祭り

一月三十一日(日)午後一時半 水行

午後二時 星祭り



寺子屋 夕食のカレーづくり



寺子屋 おーい!もっとう、右だよ!

ものがあり
気持ちの良
い汗がたく
さん出まし
た。

法要後は
二十代のお
坊さんが三
人法話。大荒
行の読経中
に聴きなれ
た女性の声
が後ろから



洋明さんのおはなし

ラグビーワールドカップで、時の人となった五郎丸選手。五郎丸選手と言えば、キックの前に見せる手を合わせる五郎丸ポーズ。どんな状況にあっても「ぶれない自分を作る」ルーティンだそうです。

ルーティンには「決められた一連の動作」という意味があります。イチロー選手のルーティンはあまりにも有名です。いつも同じ動作・所作をすることで、気持ちを整え、前の打席を引きずらず、自分をリセットして、い

つも同じ状態、心持で打席に臨むのです。

＊

仏道修行のなかに「六波羅蜜」という六つの菩薩行があります。その一つに「禅定」という行があります。どんなことがあるうとも、心を統一し落ち着かせる行です。ルーティンは禅定の行なんだと、五郎丸選手に教わった気がします。

＊

私は毎朝、庭掃除をします。二十代の頃は住職に「お寺はいつも綺麗に清浄に」と言われ、正直「面倒だな」と思うことも多々ありました。ですが、ずっと続けてきますと、今では「お寺はいつも綺麗に清浄に」と思う自分がいます。

朝のお勤めのお題目。毎朝、仏さま・諸天善神・皆さんのご先祖さまへお題目をお唱えすると、不思議と前日までの自分をリセットでき、いつも同じ心持でその日を迎えることが出来ます。仏さま・諸天善神・ご先祖様へのご給仕は実は私にとってルーティンになっているのかもしれない。

＊

どんな時も同じように変わらずに続けて

いくこと。毎日のお仏壇での合掌やお題目、挨拶、掃除、散歩、げんかつぎ、職場での仕事、学校の宿題、皆さんのルーティンは何ですか？

＊

最後に、日蓮聖人は「火の行・水の行」で「水の行」を大切にしたいとご教示下さいました。ここでの「水の行」とは、水をかぶる水行・滝行のことではありません。一瞬だけ炎のように燃え上がる「火の行」ではなく、水が流れる様に、いつも変わらず同じ様に続ける行が「水の行」です。

皆さんのルーティンが、この「水の行」そして「禅定」に繋がっていくことを願っております。



池上万灯 ガラリーと交流

「ボクにもたたけるよ～」、「おおうじょうずだ、じょうずだ」

御志納金 「七月～十月」

- 西 山田邦光殿 尊義母葬儀砌
- 三島市 中澤準殿 愛妻葬儀砌
- 小川 室野千秋殿 尊父葬儀砌
- 元村 井本和男殿 尊父七回忌砌
- 清水 山下秀治殿 尊父二十七回忌砌
- 沼津市 飯田ミツコ殿 夫君七七回忌砌
- 清水 森野隆史殿 尊父二十七回忌砌
- 山梨県 鈴木信殿 尊母永代供養砌
- 修善寺 水口隆司殿 尊叔父永代供養砌